

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **建設局**

基本計画	柱	街を支える
	大項目	都市の発展を支える拠点地区の整備
	取組みの方針	都心・副都心の活性化

担当局 / 総務担当課名	建設局	総務課
連絡先	582 - 2252	

21年度計画

-1-(2)-

施策名 **文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	黒崎副都心のにぎわいの創出や集客力の向上を図るとともに、居住空間の整備を進め、便利で快適に暮らせる「街なか」居住を促進します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	都心・副都心の活性化

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		平成21年度	目標値		
		年度	平成21年度		計画	年度	平成25年度
撥川整備事業進捗率	撥川整備事業は、単なる治水事業でなく、副都心黒崎のシンボル「撥川」として河川整備を行うものであり、具体的には、人々が水辺に近づく川を整備し、周辺に整備される文化施設等と調和した潤いある水辺空間を目的とし、平成25年度の完了を目指しています	年度	平成21年度	計画	90 %	年度	平成25年度
		現状値	87%	実績	87 %	目標値	100%
				達成度	96.7 %		
	年度			計画		年度	
	現状値			実績		目標値	
				達成度	%		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	年度		計画		年度	
		現状値		実績		目標値	
				達成度	%		
	事業費	341,500 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)				
	うち一般財源	11,550 千円	8,250 千円				

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	A	撥川の整備を進めることにより、副都心地区の治水安全度が向上するとともに、親水空間を形成することで、街の魅力を高めることに貢献していると考えられます。
		今後も周辺施設等と河川が調和した潤いのある水辺空間の創出の実現に向けて、着実な事業の実施に取り組みます。

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

また、治安安全度がどのように向上するのかをもっと具体的に示すとわかりやすい内容になると考えます。

施策名 文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり

構成事業名	事業費		事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]				21年度			21年度
撥川の整備			341,500 千円	8,250 千円	裁量的経費			ウ
事業費のうち一般財源			11,550 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	341,500 千円	8,250 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	11,550 千円	

局施策の
21年度評価

A

【局施策評価】
A:大変良い状況にある
B:概ね良い状況にある
C:概ね良い状況とまでは言えない
D:不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 A:事業の見直しを図ることが可能 I:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	建設局	水環境課
連絡先	582-2491	

基本計画	柱	街を支える
	大項目	都市の発展を支える拠点地区の整備
	取組みの方針	都心・副都心の活性化
	主要施策	文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり

関連計画	中心市街地活性化基本計画(黒崎地区)
事業期間	昭和45年度～平成25年度
経費区分	裁量の経費

-1-(2)-

事業名	撥川の整備		
【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	撥川では、副都心黒崎地区の浸水被害を防ぐため、昭和45年から河川改修を実施してきました。その結果、水害に対する安全度は格段に向上しましたが、その反面、コンクリートで固められた川は、本来、川がもつ魅力が失ってしまいました。そこで、この撥川をもう一度魚が住み、植物が生え、人々が水辺に近づける川に蘇らせようと市民参加のもと「撥川ルネッサンス計画」を平成9年に策定しました。本事業は、この計画のもとに、単なる治水事業でなく、副都心黒崎のシンボル「撥川」として河川整備を行うものであり、具体的には、人々が水辺に近づける川を整備し、周辺に整備される文化施設等と調和した潤いある水辺空間を創出するものです。	
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名 文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり	成果 撥川整備事業進捗率

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
			河川改修(国道200号～文化交流拠点地区 L=700m) うち文化・交流拠点地区内(L=200m)は平成22～24年度	河川改修(国道200号～文化交流拠点地区 L=700m) うち文化・交流拠点地区内(L=200m)は平成22～24年度	河川改修(国道200号～文化交流拠点地区 L=700m) うち文化・交流拠点地区内(L=200m)は平成22～24年度	河川改修(国道200号～文化交流拠点地区 L=700m) うち文化・交流拠点地区内(L=200m)は平成22～24年度	河川改修(国道200号～文化交流拠点地区 L=700m) うち文化・交流拠点地区内(L=200m)は平成22～24年度		
		事業進捗率 90%	92%	95%	97%	100%			
		現状	事業進捗率 87%	92%	95%	97%	100%		
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標
		事業の進捗率					計画	90%	年度 平成25年度
		平成25年度の河川改修の完了に向け、事業の円滑な進捗に努めます。					実績	87%	内容 進捗率100% (河川改修完了)
							達成度	96.7%	
								計画	年度
								実績	内容
						達成度	%		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月【21年度:執行額】						事業費	341,500 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度) 8,250 千円
							うち一般財源	11,550 千円	
単年度計画									

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
【実施結果】	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 平成21年度は河川函渠護岸工事(L=100m)を実施しています。当該工事において、地下埋設物移設の調整等に時間を要し、一部工事実施が遅れ、平成22年度への繰越工事となりましたが、概ね計画通り工事は進捗しています。

【事業の再検証】			
【評価】	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	撥川の整備が進捗することで、副都心黒崎地区の治水安全度が向上するとともに、親水空間が形成され、街の魅力が高まり、集客と回遊性の強化、定住人口の増加につながります。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4:高い 3:やや高い	3 概ね効率的であり、コストを縮減する余地は少ないが、工事を実施する際は、より経済的な工法を選択していきます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2:やや低い 1:低い	4 中心市街地活性化基本計画(黒崎地区)の実現に高い効果が期待できます。また、事業を休止・廃止した場合、副都心黒崎地区のにぎわいづくりだけでなく、治水安全度の向上が遅れることから、市民生活へ大きな影響があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか。市の関与をなくすことはできないのか。	4	4 撥川の整備は、河川法16条の3に基づき、県と市が協定を締結し、市が整備を実施することとしています。
【今後の方向性】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	本事業は、施策に対する有効性が高く、今後も目標の達成に向け、着実な取り組みを進めていくことが適当であると考えます。